

## 指定管理者による管理運営の実施状況報告

- 1 施設名 : 筑後広域公園芸術文化交流施設
- 2 指定管理者 : ちくごJR芸術の郷事業団
- 3 指定期間 : 平成30年4月1日～令和5年3月31日
- 4 施設設置目的 : 筑後地域の芸術文化団体やまちづくり団体等との連携を図りながら、地域の情報発信や発展、文化振興に寄与する。
- 5 管理運営についての点検結果（令和4年4月1日～令和5年3月31日）
  - (1) 点検方法 : 事業報告書、現地確認・ヒアリング等をもとに、指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。
  - (2) 点検結果 : 別添のとおり

## 1 管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
①公共性（公益性）の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の設置目的を踏まえ、地域との連携・協同を図りながら、地域の文化振興に寄与する。</li> <li>全ての人が快適に施設を利用できる運営を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元自治体やNPO法人等と連携を図りながら、「芸術文化事業」「交流事業」「体験事業」を3本の柱とする事業を実施している。</li> <li>地域文化の振興のため、新型コロナウイルス感染対策を十分に行った上で、住民参加型のイベントや体験事業を展開し、文化交流施設としてのニーズに応えている。</li> </ul>
②施設利用及びサービス向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>より広域的な集客を図るため、九州新幹線主要駅でのPRやSNSの活用等、効果的な広報に努める。</li> </ul> <p>（目標：利用者数 55,000 人）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>JR九州の筑後船小屋駅周辺の各駅及び博多駅や吉塚駅等の12駅にポスターやチラシ等を設置している。</li> <li>JR九州博多駅構内のマルチビジョンやデジタルサイネージ、列車1編成の全広告スペースを使うADトレインを活用しイベントのPRを行っている。</li> <li>子どもを対象とした体験事業「夏休みこどもアカデミー」「冬休みこどもアカデミー」では、筑後地域の各小学校に直接チラシを配布するなど集客に努めている。</li> <li>コロナ禍による事業の中止等の影響から回復傾向にあり、令和3年度と比べると利用者数が大幅に増加している。臨時休館となったのは、台風の影響による2日間のみ。</li> </ul> <p style="text-align: center;"> <span style="font-size: 2em;">{</span>         利用者数：67,708人（対前年度 +22.5%、対R1年度 Δ3.3%）          施設稼働率：53.7%（対前年度 +2.7ポイント、対R1年度 +4.9ポイント）       </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設の設置目的に沿って、施設の特性を活かした以下の事業を展開。</li> </ul> <p style="text-align: center;"> <span style="font-size: 2em;">{</span>         事業数：23事業（対前年度 +6事業、対R1年度 Δ4事業）          参加者数：30,559人（対前年度 +78.0%、対R1年度 Δ23.0%）       </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 芸術文化事業 事業数：11事業（対前年度 +2事業、対R1年度 +2事業） 参加者数：14,740人（対前年度 +85.9%、対R1年度 Δ19.4%）</li> <li>② 交流事業 事業数：2事業（対前年度 +1事業、対R1年度 Δ5事業） 参加者数：6,674人（対前年度 +91.4%、対R1年度 Δ49.3%）</li> <li>③ 体験事業 事業数：6事業（対前年度 +1事業、対R1年度 Δ2事業） 参加者数：5,796人（対前年度 +140.4%、対R1年度 Δ29.8%）</li> <li>④ 自主事業 事業数：4事業（対前年度 +2事業、対R1年度 Δ1事業） 参加者数：3,349人（対前年度 +0.3%、対R1年度 +51.7%）</li> </ul> <p>&lt;主なもの&gt;  「富松孝侑 木のエスプリ 彫刻作品寄託記念展」、「あゆみ—伊藤彰耳展」、  「第14回筑後七国卑弥呼の火祭り」、「九州芸文館アカデミー講座」、  「鐵道物語2022 動輪の軌跡とNゲージ鉄道模型展」</p>

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者のニーズ等を把握し、利便性の高い施設を目指す。</li> <li>・サービスマニュアルを作成、職員の役割を明確化する。</li> <li>・高齢者や障がい者への配慮を徹底する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート等により利用者の声を集約し、職員間で問題の解決と情報共有を行なっている。</li> <li>・居心地の良い空間とするため、丁寧な清掃や分かりやすい案内板表示を心がけ、サービスマニュアルに沿った取組をさらに徹底している。</li> <li>・車いす3台の貸し出しを行っている。</li> </ul>
③経営（収支）改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用の促進と収入確保を目指し、経費の節減、経営の効率化に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR九州のネットワークを活用し、広報を行うことで稼働率向上と収入確保に努めている。</li> <li>・令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による約2か月間の臨時休館及び改修工事に伴う展覧会等の減少が原因で利用料金収入が減少したが、令和4年度は、台風による臨時休館はあったものの順調に推移し、利用料金収入、事業収入ともに増加した。</li> </ul> <p style="text-align: center;"> <span style="font-size: 2em;">{</span>           利用料金収入実績：2,783千円（対前年度 +99.9%、対R1年度 Δ23.1%）            県委託料（指定管理料）：117,922千円（対前年度 Δ1.9%、対R1年度 Δ1.2%）            ※上記委託料は、改修工事による休館や感染症拡大に伴う補填を含む。         </p>
④職員確保方策及び健全な財政基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「高い専門性」「豊かな技能」を有し、地域文化の創出に情熱的に取り組む人材を確保する。</li> <li>・安定した経営と財政基盤を構築する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続した事業実施やサービスの質の確保のため、専門知識・技術と現場経験を有する職員を配置している。</li> <li>・担当職員が、美術館や博物館の研修受講等により専門的な知識や技能を習得している。</li> <li>・借入金はなく、健全な財務体質を維持している。</li> </ul>
⑤施設管理上の個別事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警備や巡回を定期的実施し、利用者の安全確保に努める。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応を徹底する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来館者が安全快適に過ごせるよう、職員及び警備員による巡回や点検を定期的実施し、危険個所の早期発見及びマニュアルに沿った迅速な対応を行っている。</li> <li>・県の方針に従い、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めている。令和2年度に設置したサーモカメラや非接触型手指消毒スプレースタンド等に加え、新たに施設内トイレ20か所に便座殺菌消毒ディスペンサーを設置した。</li> </ul>

## 2 点検結果

<input type="checkbox"/> A+（提案内容を上回った） <input type="checkbox"/> A（提案内容をやや上回った） <input checked="" type="checkbox"/> B（概ね提案内容のとおり） <input type="checkbox"/> C（提案内容をやや下回った） <input type="checkbox"/> D（提案内容下回った）	<p>【総合コメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の設置目的を踏まえ、地域と連携したイベントや体験講座の実施など、施設の特徴を活かした文化事業を実施している。</li> <li>・利用者のニーズを把握し、高齢者や障がい者に配慮した対応を行うなど、施設利用者へのサービス向上に努めている。</li> <li>・「芸術文化事業」「交流事業」「体験事業」を3本の柱とした事業について、新型コロナウイルス感染対策を講じた上で実施し、利用者の増加につながっている。</li> <li>・感染拡大防止策については、職員の意識と設備の配備が徹底されており、十分に実施できている。</li> </ul> <p>以上のとおり、施設の設置目的に沿って、概ね提案どおりの適切な運営が行われている。</p>
---	--